本文

第46号

官報

第四拾六號　明治十六年八月二十三日　木曜日

太政官文書局

○達

○太政官達第三拾四號

官用ノ船舶ヲ製造又ハ變更（汽船ヲ帆船ニ變ヘ又ハ檣數ヲ增減スル類）若クハ購求シタルトキハ別紙第一號及ヒ第二號表ニ照シ毎年一月一日調ヲ以テ其年三月三十一日限リ海軍省ヘ報告スヘシ此旨相達候事

明治十六年八月二十三日　　太政大臣三條實美

（別紙）

第壹號

西洋形船舶表

官省院廳府縣

船名	何丸	推進機	螺旋カ兩輪カ風帆カ
船長	何府（縣）何國何郡（區）何町（村）何番地（寄留者ハ寄留地方ヲ記ス）何府（縣）華（士）族（平民）何某		
製造ノ年月及地名	何年何月何所ニ於テ製造		
船質	木製カ鐵製カ		

長	量噸甲板上最大ノ長サ　何丈何尺何寸
幅	內法リ最大ノ幅　同
深	艙室ニ於テ量噸甲板ヨリ船底中央ノ內板ニ至ル深サ　同
載貨喫水	船首　何尺何寸　船尾　何尺何寸
登簿噸數	何千何百何拾何噸
甲板數	何層
檣數	何本　裝帆種類　「バーク」カ「ブリク」カ「スグーネル」カ
機關種類	横置カ　縱置カ　斜置カ　單機關カ　複機關カ　高壓カ　低壓カ
汽罐ノ形狀及ヒ員數	角カ　圓カ　何個カ
馬力	名何千何百何拾何馬力　實何千何百何拾何馬力
炭庫容積	尋常速力　何晝夜分
所費炭料	尋常速力　一晝夜何百何拾何斤
走力	尋常速力（一時間拾何里　全速力拾何里
定繫場	何所
旗章	

第貳號

日本形船舶表

官省院廳府縣

五拾石以上商船		艜漁船及海川小廻船	
石分	船數	船長	船數
五拾石以上百石未滿	四三九壹個	四間未滿	壹八三貳個
百石以上貳百石未滿	貳九〇三〇八石	四間以上五間未滿	四〇一〇〇〇石
貳百石以上三百石未滿		五間以上六間未滿	
三百石以上四百石未滿		六間以上七間未滿	
四百石以上五百石未滿		七間以上八間未滿	
五百石以上六百石未滿		八間以上九間未滿	
六百石以上七百石未滿		九間以上拾間未滿	
七百石以上八百石未滿		拾間以上拾壹間未滿	
八百石以上九百石未滿		拾壹間以上拾貳間未滿	
九百石以上千石未滿		拾貳間以上拾三間未滿	
千石以上千百石未滿		拾三間以上拾四間未滿	
千百石以上千貳百石未滿		拾四間以上拾五間未滿	
千貳百石以上千三百石未滿		拾五間以上拾六間未滿	

第46号

千四百石以上千三百石未滿	千五百石以上千四百石未滿	千六百石以上千五百石未滿	千七百石以上千六百石未滿	千八百石以上千七百石未滿	千九百石以上千八百石未滿	貳千石以上千九百石未滿	貳千石以上				
拾七間以上拾六間未滿	拾八間以上拾七間未滿	拾九間以上拾八間未滿	貳拾間以上拾九間未滿	貳拾間以上							

○海軍省達丙第六拾八號

海門艦自今東海鎮守府ノ所管ト定ム此旨爲心得相達候事

明治十六年八月廿三日

海軍卿川村純義

○伺指令

○太政官

海軍省ヨリ生年ヲ知テ生月ヲ知ラサル被告人年齢計算方ノ儀ニ付伺

生年ヲ知テ生月ヲ知ラサル被告人年齢計算方ノ儀舊法ニ在テハ改定律例第九十三條ニ依リ生年ヲ以テ半年ニ計算致候得共新法ニハ右等ノ明文無之且ツ生月ヲ知ラサル者ハ其ノ六月前ニ出生セシヤ將タ七月以後ノ出生ナルヤモ知ルヘカラサルニ付舊法ノ如キ計算法ニシテハ被告人ニ於テ大ニ幸不幸ヲ來シ不都合ト被存候處地方法衙ニ於テハ生月ヲ知ラサル者ハ十二月ヲ以テ生月ト爲シ計算致候由右ハ算定方穩當哉ト存候條當軍衙ニ於テモ生年ヲ知テ生月ヲ知ラサル者年齢ノ儀ハ十二月ヲ以生月ト定メ計算致度此段相伺候也

明治十六年七月十三日

海軍一般

指令　伺ノ通

明治十六年八月二十二日

○大藏省

靜岡縣ヨリ烟草印紙ヘ量目幷烟草銘附記ノ儀ニ付伺

第一條　本年太政官第貳拾號布達第三項ニ量目ヲ附記スヘシトアリ然ルニ帶印紙ニハ何匁用ノ文字其彩紋中ニ刷出シアルヲ以テ帶印紙ヲ用ル者ニ限リ特ニ量目ヲ附記スルニ及ハスヤ

第二條　烟草稅則第十四條ニ依リ結束セシ帶印紙面ヘ烟草銘(國分ト記スルノ類)ヲ附記致度旨申出ルモノアリ右ハ販賣上必要ト云フト雖モ印紙ヲ汚損スルニ似タリ就テハ假令餘白タリトモ烟草銘ヲ附記スルハ相成ラスヤ右相伺候也

明治十六年八月六日

指令

第一條帶印紙ニ何匁用ノ文字刷出シアルモ猶量目ヲ附記スヘシ

第二條申出ノ通

但烟草銘ヲ小紙片ニ記載シ印紙彩紋ノ側面ヘ貼附スルハ苦シカラス

明治十六年八月十七日

○官廳彙報

○東海鎮守府長官中牟田海軍中將ハ本月廿日箱根温泉ヘ出發シタルニ付不在中海軍大佐福島敬典ヘ府務代理ヲ命セラレタリ

○野村驛遞總官ハ一昨二十一日福島ヘ着昨二十二日若松ヘ向ケ出發スル旨電報アリタリ

○宮內權大書記官長田銓太郎ハ北海道ヘ差遣サルヽ彰仁親王ノ隨行ヲ命セラレタリ

○文部少書記官依田百川ハ夏期賜暇中往復二過間ヲ期シ上州伊香保温泉ヘ入浴ノタメ本日出發ス

第四拾六號　明治十六年八月二十三日

○侍從富小路敬直ハ昨廿二日札幌縣ヘ出張ヲ命セラレタリ

○神奈川縣大書記官田沼健ハ本月廿日鎌倉宮例祭ニ付奉幣使トシテ參向シ即日歸廳シタリ(神奈川縣報告)

○山陽西海兩道ヘ出張セシ五等驛遞官小尾輔明ハ一昨二十一日鹿兒島ヘ着シタル旨電報アリタリ

○夏期賜暇中野州日光邊ヘ旅行セシ太政官准奏任御用掛前田利鬯ハ一昨二十一日歸京シタリ

○磐城艦ハ本月五日午後四時朝鮮國釜山浦ヨリ仁川港ヘ着セリ

○天城艦ハ艦底ノ修理了リ一昨廿一日出渠セリ

○曩ニ三菱會社汽船隅田丸ノ擱觸シタル長門國響灘盃井島近傍ノ暗礁位置ヲ測定ノタメ海軍省水路局ニ於テ其ノ測量ニ着手スル都合ナリ

○昨午后二時頃ヨリ同三時頃迄降雨シ大坂市街ノ雨量ハ〇四五〇「インチ」ナリ又一昨廿日以后ノ天色ニ據レハ管下一般ニ多少降雨アリト認ム今朝最低ノ温度ハ七十一度ナリ(昨廿二日附大坂府電報)

○府下淺草區龜井町拾九番地平民藤波金之助同人父金次郎、母ヒサハ去ル五月强盜犯ヲ取押ヘタルニ付一昨二十一日警視廳ヨリ一同ヘ賞金ヲ付與シタリ

○三重縣伊勢國飯高郡伊勢寺村字堀阪山ハ該村ノ共有ナレトモ同郡井村外七箇村ノ人民ハ此ノ山ニ生スル雜草ヲ苅取リ肥料ニ供スルノ便ヲ得タリ(土俗之ヲ宛山ト云フ)然ルニ該村民ノ內往々樹木ヲ伐採スル等ノコアルヲ以テ濟政ノ頃ハ伊勢寺村ノ村吏該地ニ出張シテ其ノ苅取リタル雜草ヲ檢査シ若シ樹木ヲ交フル等ノコアレハ直ニ之ヲ伊勢寺村ニ取上クルノ慣例ナリシニ維新以來ハ其ノ慣例次第ニ行ハレス隨ヒテ樹木ヲ伐採スル者日ニ多キヲ加ヘ到底之ヲ匡正セサレハ

第46号　本文

山ヲ藉ニスルノ恐アルヲ以テ伊勢寺村ノ人民ハ大ニ之ヲ憂ヒ井村外七箇村ノ人民ニ爾后山ノ通路以北即從來ノ宛山ヲ除ク外ノ地ニ於テ柴草ヲ苅取ルヘカラサル旨ヲ通シ專ラ山地保護ノ法ヲ經畫セシニ井村外七箇村ノ人民ハ更ニ之ニ從ハサルヲ以テ客歳十一月伊勢寺村人民ヨリ終ニ安濃津始審裁判所ニ出訴シタルニ審理ノ末原告ノ敗訴ニ歸シタルヲ以テ更ニ名古屋裁判所ニ控訴中ナリ初メ安濃津始審裁判所ニ出訴スルヤ原告伊勢寺村人民ハ被告村民ノ入山ヲ拒ミ兩造ノ間互ニ讎敵ノ如ク動スレハ不穩ノ景況アルニ付郡吏警官等雙方ノ間ニ說諭シ爾后伊勢寺村ニ於テモ被告村民ノ入山ヲ拒マス日ニ判決ノ如何ヲ翹望セシニ遂ニ原告ノ敗訴トナリ尋キテ名古屋裁判所ニ控訴セシ以來原告村民ハ再ヒ被告村民ノ入山ヲ拒ミ常ニ番人ヲ山地ニ置キ若シ被告村民ノ柴草ヲ苅取ル者アル時ハ之ニ抵抗スル等ノ事アルヲ以テ警官ハ伊勢寺村人民ニ說諭シ控訴裁判所ノ判決ニ至ル迄ハ雙方共ニ入山セサルコト定メ其ノ旨ヲ被告村民ニ通シタリ然ルニ被告村民ハ更ニ之ヲ承諾セサルヲ以テ原告村民ハ大ニ激シテ番人ヲ增置シ嚴ニ被告村民ノ入山ヲ拒ミ若シ强ヒテ入ラント欲スル者アラハ腕力ヲ以テ之ヲ抗拒セントシ被告村民モ亦數人隊ヲ組ミテ入山シ若シ腕力ヲ以テ抗拒スル者アラハ腕力ヲ以テ之ニ應スヘキ勢ヲ示シ將ニ不穩ノ形況ニ至ラントスルノ飛報アルニ付郡吏警官等急ニ伊勢寺村ニ趣キ該村民等ニ被告村民ノ入山ヲ拒マント欲セハ宜ク法術ニ就テ入山差拒ノ附帶訴訟ヲナスヘキ旨ヲ說キ又被告井村外七箇村ノ人民ニモ漫ニ入山スヘカラサルヲ諭シ遂ニ控訴裁判所ノ判決ニ至ル迄ハ原被雙方共入山セサルノ約ヲ定メシメ一場ノ紛議稍ミ平穩ニ歸スルニ至レリ（本月十九日附三重縣報告）

○學事

○卒業證書授與（新潟縣報告）　新潟縣ヶ立新潟學校ニ於テ本月十五日縣下ノ調導拾三名ハ高等師範學科第二回七箇年有効ノ卒業證書ヲ授與シタリ

○衛生事項

○肺肝臓「ジストマ」病取調（岡山縣報告）　岡山縣下ニ於テ從來一種ノ肺臓及肝臓「ジストマ」病ヲ患フル者尠カラス就中備前國兒島郡備中國都宇窪屋兩郡地方ハ肝臓「ジストマ」病ニ罹ルモノ年々多シ依テ岡山病院ニ於テ其ノ病因ヲ探究スルコトヲ勉メタリト雖未充分ナル結果ヲ得ルニ至ラサリシカ本年七月中同病院醫學士四名製藥學士壹名開業醫五名衛生課吏員壹名及衛生委員貳名ヲ肝臓「ジストマ」病取調委員トナシ其ノ病因ヲ探リ且其ノ豫防法ヲ講究スルコトニ從事セシメタルニ追々其ノ病因ヲ探リ得タリ因テ其ノ概略ヲ左ニ記ス

（アンヒストマ、ポビウム）　吸蟲類ノ一種アンヒストマ、ホミニス」ハ西洋諸國ニ於テモ現今ニ至ル迄僅々一二回人身ノ大腸中ニ發見シタルニ過キス然ルニ廣島縣下備後國片山村ト稱スル一小村ニ於テ一種ノ地方病アリ其ノ病狀頗ル岡山縣下ノ地方性肝臓「ジストマ」病ニ類ス未患者ノ糞中固有ノ「ジストマ」蟲ノ卵子ヲ發見セスト雖肝臓膨大慢性ニシテ一地方ニ限リ發スルヲ以テ流行性肝臓「ジストマ」蟲病ト判定シタリ然ルニ此ノ頃一種ノ寄生蟲ヲ得シニ「アンヒストマ」蟲ノ一種ニシテ人身ノ大腸ニ棲息スル者ニ非ス即片山村ノ牛胃ニ寄生スル者ナリ之ヲ上記ノ「アンヒストマ、ホミニス」ニ比較スルニ全ク別種ナレハ「アンヒストマ、ポビユム」（牛兩端口蟲ト名ク其ノ全体ハ殆ト越瓜ニ類シ体ノ前端ハ細狹後端ハ圓形廣大ニシテ往々後端ニ近キ部絞縮ス其ノ最大ナル者ハ縱徑十七「ミリメートル」幅徑ハ七「ミリメートル」又不熟ノ者ハ五「ミリメートル」横徑二「ミリメートル」ニ過キサル者ナリ

（肺「ジストマ」蟲）　東京ニ於テ數年間屢々血痰ヲ咯出シ且時々咯血ヲ起ス患者アリ大學醫學部雇ベルツ氏ハ其ノ痰液中ニ一種茶褐色ニシテ楕圓ナル卵子ヲ發見シ初メ「プソロスペルミエン」トナセシカ後之ヲ「ジストマ」蟲卵子ト看做シ此ノ病ヲ寄性生咯血ト名ケタリト雖猶未明瞭ナルニ至ラサリシカ本年二月三日岡山縣ニ於テ同病ニ罹リ死亡シタル者アリ因テ其ノ死体ヲ解剖セシニ大略左ノ如シ

岡山縣備前國赤坂郡神田村農國鹽廣吉（四十六年）ハ其ノ父ハ健康ナリシカ今ヲ距ルコト六年前齡七十四歳ニシテ卒然死亡シ母ハ頗ル壯健齡七十二歳ニシテ今尙健全ナリ患者ハ廿四五歳頃ニ至ル迄强壯ニシテ頗ル勞力ニ堪ヘタリシニ同年以降漸次ニ虛弱トナリ四拾歳ノ頃ヨリ每冬期ニ至レハ咳嗽頻發勞力ニ堪ヘス多クハ蓐ニ就キ唯夏期ノミ耕耘ニ從事セリ健康ノ時ハ酒ヲ嗜ミシカ病ヲ得ルニ及ヒ漸次酒量ヲ減シ目今ニ至リテハ全ク廢セリ又二年前ヨリ時々喀赤色ニシテ血液ヲ混同スル痰液ヲ咯出シ且每冬期咳嗽頻發スル時ハ大約三四合許ノ鮮血ヲ時々咯出シ往々顏面ニ浮腫ヲ起セシカ今回ノ冬期ニハ未咯血ヲ來サス浮腫ハ昨年十月頃ヨリ漸々著明トナリ顏面ヨリ下肢ニ涉リ遂ニ全身水腫トナリ昨十二月ヨリ全ク蓐ニ就キ爾來咯痰咳嗽ハ稍輕易トナルモ未全ク治セス遂ニ目今ノ病況ニ至リ一日一二回ノ軟便ヲ通スト云フ

（現症十六年一月十二日）岡山ヨリ醫員ヲ派出シ之ヲ診スルニ貧血ノ患者蓐ニアリ全身水腫（殊ニ右側ニ著シ患者ハ常ニ右側ニ平臥ス）ヲ呈シ右眼瞼ハ著シク浮腫狀ニ腫起シ殆ト閉塞スルニ至ル時々咳嗽ヲ發シ喀赤色ヲ帶ヒタル痰液ヲ咯出シ之ヲ顯微鏡ニテ檢視スルニ赤血球白血球シヤルコー」氏結晶及數多ノ特異ナル肺「ジストマ」卵子ヲ含ム胸部ハ打診上異常ヲ呈セス聽診スルニ右肺殊ニ背部ニ小量ノ大水泡音アリ左肺ハ呼吸音稍々幽微ニメ左後下部ニ肋膜炎性摩擦音ヲ聞ク腹部ハ輕易ノ腹水アルノ外他ニ異常アルヲ發見セス体温平常脉搏七十次食欲稍々減少シ尿ニ異常ナシ

上記ノ如ク患者久シク喀赤色ノ痰液ヲ咯出シタル內ニ兩血球及「ジストマ」ノ卵子ヲ含ミ且尿ニ異常ナキヲ以テ肺「ジストマ」蟲ト診斷セリ

（療法及經過）規尼涅錢製劑「ヂキタリス」等ヲ與ヘテ歸岡セシカ其ノ後水腫減少諸兆稍々緩解スト雖幾許ナラスシテ諸徵再ヒ險惡トナリ高度ナル水腫ヲ起シ三月一日ニ至リ死亡シタリ

（解剖）死后凡五十時間ヲ經三月三日解剖ヲ行フ死後强直已ニ退キ顏面右胸側右上肢等ニ水腫ヲ呈シ皮膚ハ蒼白色ニメ左第一肋骨ノ胸骨ニ附着スル部ニ於テ稍々圓形ナル直徑凡二「センチメートル」ノ表皮剝脫部アリ又右肩胛外側ニ一錢銅貨大右大轉子部ニ鷄卵大ノ蓐創アルヲ見ル兩下腿ニ於テハ表皮大部剝脫シ右胸背部ニ死斑アリ內臓ヲ檢スルニ兩肋膜ハ橫隔膜部ニ至ル迄全ク癒着シ心囊モ亦之ニ生着ス胃及肝臓ノ表面ハ廣ク橫隔膜ノ下面ニ癒着ス肺ヲ檢スルニ其ノ淺表部ニ豆大乃至蠶豆大ノ空洞アリテ一個若クハ二個ノ已ニ死シタル「ジストマ」蟲アリ（裏ニ解剖セシ所ハ寄生蟲猶生活セリト云フ）其ノ他血球「ジストマ」ノ卵子粘液等ヲ含メリ而シテ其ノ空洞ノ周圍ハ大抵堅硬シ內面滑澤ニメ微細ノ家管枝ニ交通ス而シテ左右肺ヨリ得タル寄生蟲ハ總テ拾五個アリ

（地方性若クハ惡性肝臓「ジストマ」蟲）　此ノ寄生蟲ハ明治十一年備中

46

ニ於テ死体解剖中偶然肝臓中ニ發見シタルヲ初トス然ルニ當時醫學尚未開ケス其ノ十二指腸中ニ舍リシカ故ニ十二指腸蟲ナラント思惟セリト云フベルツハ地方性若クハ悪性肝「ジストマ」蟲ト名ケタルヲ本年四月刊行伯林醫事毎週誌第拾六號ニ掲載セリ又明治十六年五月八日福田新田(地方性肝「ジストマ」蟲病アルノ地ナリ)ニ於テ一農夫(二十三年)多量ノ腸出血ニ由テ死亡シタリ其ノ死去四五日前醫坂田某之ヲ診セシニ全身水腫及貧血ヲ呈シ久シク下利ヲ患ヒ食欲平常ニシテ甚シク衰弱セス尚行歩ニ堪ヘ而シテ其ノ病況ハ大ニ地方性肝臓(ジストマ)蟲病ニ類似スルヲ以テ其ノ病名ヲ下シタリ然ルニ死亡ノ日厠圊ニ赴カント欲シ誤リテ地上ニ墮落シ次キテ劇烈ノ下血ヲ起シ大貧血脉細小四肢厥冷嘔吐等ノ諸兆ヲ以テ遂ニ死亡シタリ同十日解剖ヲナシ顯微鏡ニテ檢視スルニ寡少ナレヒ特異ナル「ジストマ」蟲ノ卵子ヲ發見シタリ右解剖ハ死後六十八時ニシテ強直已ニ退キ輕易ノ全身水腫ヲ呈シ全腹壁ハ綠色ニ變ス腹腔ニハ血液ヲ混シタル漿液少量ヲ貯ヘ腸間膜ニハ甚濶大ナル溢血アリ回腸結腸等ニハ血液ト粘液ヲ混シタル液潴溜シ腸壁ハ血球色素ヲ吸收シテ一様ニ赤色トナリ外面ヨリモ之ヲ目擊スルヲ得胃ニハ汚穢暗色ノ液凡二〇〇、〇〇含ミ内ニ無數ノ「ジストマ」蟲及ヒ卵子アリ十二指腸ヨリ以下ニモ同寄生蟲及ヒ卵子ヲ發見スルモ腸ノ下部ニ至ルニ從ヒ漸次減少シ回腸ノ終リニ至リテ全ク消失ス肝臓ハ肥大シ左右ノ縱徑平常ハ二拾五乃至三拾「センチメートル」ニ過ギサル者モ三拾貳「センチメートル」トナリ前後ノ幅徑尋常ハ拾五乃至拾八「センチメートル」ナレヒ貳拾貳「センチメートル」トナル故ニ肝臓ハ主トメ其ノ幅徑ヲ增加セシナリ重量ハ一五〇〇、〇乃至貳〇〇〇、〇ヲ通常トスルモ此ノ死体ニ於テハ貳三貳〇、〇トナル其ノ前緣ハ非薄堅固ニメ銳ク且處々ニ新成シタル結締織索狀ニ走ルヲ見ル表面ハ滑澤ニシテ廣ク横膈膜ニ生着ス胆道ハ一様ニ擴張シ肝ノ表面ニ近キ所モ鉛筆幹乃至小指大ニシテ所在無數ノ「ジストマ」蟲及ヒ其ノ卵子ヲ含ム然レヒ局處ノ囊狀ニ擴張シタル部ハ一モ之ナシ胆囊ハ暗茶褐色ノ液ヲ含ミ同寄生蟲及卵子ヲ含ム又膵ヲ見ルニ「ウイルヅンキアヲス」管中ニ夥多ノ「ジストマ」蟲アルヲ見ル腎臓心臓等ハ異常ナシ脾臓ハ只僅ニ腫起シ肺臓ハ健全ニシテ只其ノ兩葉ニ沈墮性充血アルノミ以上ハ則解剖上ノ變化ナリ

(無害性肝ジストマ蟲)　此ノ「ジストマ」蟲ハ明治十五年初メテベルツカ肺勞患者ヲ解剖スルニ當リ發見シ其ノ後六七ケ月ヲ過キ全ク之ヲ知ラス又之ニ關係ナク岡山縣ニ於テ心臓病患者ヲ解剖スルノ際之ヲ發見セリ其ノ初ハ悪性肝「ジストマ」ト同一ニシテ只其ノ大ナル者ト看做セシモ後ニ至リ其ノ否ラサルヲ知レリ其ノ異ナル部ハ無害性「ジストマ」ハ大ニメ貳拾「ミリメートル」ニ達シ身体諸部ニ色素多ク墨丸ハ數多分岐シ卵子ハ其ノ鈍端ニ於テ稍〻明瞭ナル小紐子アリ悪性「ジストマ」蟲ニ於テハ八乃至拾六「ミリメートル」ニ過キス身体諸部ニ色素乏シク墨丸ハ分岐スルコト寡ク且卵子ノ鈍端ニアル紐子ハ稍〻不明ナリ其ノ他ベルツハ無害性「ジストマ」蟲ニ於テ黑色卵子欠如シ頭端細狹トナシスト云ヒ之ヲ悪性「ジストマ」蟲ト區別スルノ憑據トセシモ新鮮ナル悪性「ジストマ」蟲ヲ檢視スルニ一モ斯ノ如キ黑色ノ卵子ヲ含マス只將來色素ノ變化ニ由リテ生シタル者ナリ況ヤ無害性「ジストマ」蟲モ陳舊ノ者ハ同様黑色ノ卵子ヲ含ムニ於テヲヤ又頭端ハ細狹ナラスト云フモ新鮮ノ寄生蟲數拾ヲ採リ之ヲ比較スルニ大小ノ差アルモ兩種共ニ頭端細狹ナリ

(猫肝臓「ジストマ」蟲)　岡山縣兒島郡福田新田ニ於テ地方性肝臓「ジストマ」蟲病ノ外又一種家猫ニ來ル「ジストマ」蟲アリテ其ノ地猫族ヲ犯シ甚慘酷ヲ極ムルコト毫モ人身ノ「ジストマ」病ニ異ナラサレトモ全ク別種ノ「ジストマ」蟲ナレハ之ヲ猫肝臓「ジストマ」蟲ト名ケタリ又福田新田ノ坂田某ハ客歳十二月頃分娩後凡一百日ヲ經タル猫兒ノ貪食ニメ倦怠ノ狀ヲ顯シ初メ活潑ナルモ後更ニ遊戯セス音聲變調嘶嗄シ甚臭氣アル便ヲ利ス(便ハ軟硬屢〻交換セリト云フ)又一日肝臓ノ著シク膨大スルヲ認メタリシニ漸々羸瘦ヲ來シ肝臓除々ニ增大シ經過凡六七十日ニシテ本年一月死亡スルヲ見タリ之ヲ解剖セシニ肝臓著シク膨大シ表面滑澤ニシテ胆營ハ處々囊狀ニ擴張シ内ニ夥多ノ「ジストマ」蟲及卵子ヲ含ミ胆囊十二指腸膵管中ニモ亦之アリタリ同寄生蟲ハ大ニ前二種ノ「ジストマ」蟲ニ類スルモ亦異ナル部アレハ之ヲ一種特別ノ「ジストマ」蟲ト看做サヽルヲ得ス其ノ形ハ略ホ前二種ニ類スルモ最大ナル者拾「ミリメートル」ヲ超過セス小ナルモノハ長徑僅ニ五「ミリメートル」ニ過キス加フルニ其ノ他ハ大ニ悪性「ジストマ」蟲ニ類似ス其ノ後ニ至リ坂田某ハ同地ニ於テ前後八頭ノ病猫ヲ得之ヲ解剖セシニ皆同一轍ナリシト云フ

○香港虎列拉病(本月十四日發在香港日本領事館電報)　本月九日以來香港ニ於テ虎列拉病ニ罹リタル者九名アリ内英人四名清國人貳名死亡シタリ

○虎列拉病患者集報

(警視廳報告)　東京府日本橋區濱町貳町目拾貳番地尾崎松五郎雇人近藤新吉(五十六年)ハ本月五日虎列拉病ニ罹リ治療中ナリシカ同十九日全治セリ

(德島縣報告)　德島縣讃岐國那賀郡山口村ニ於テ男一人本月八日類似症ニ罹リ即日死亡阿波國名東郡富田浦町ニ於テ女一人本月十一日類似症ニ罹リ治療中ナリ

○農工商事項

○熊害(農商務省報告)　札幌縣下石狩國札幌區勸農協會ノ報告ニ據レハ膽振國千歳郡ニ於テハ本年熊害殊ニ甚シク農事ニ使用スル放馬ヲ害スルヿ數拾頭ニ及ヘリ依リテ之ヲ獲殺セントヲ舊土人ニ訊キシニ爾來該郡ノ山中ニ於テ獲殺スル所ハ熊六拾六頭猥貳頭ナリ此ノ外未其ノ報ヲ得サルモノ數多アルヘシ實ニ本年ノ如ク獲殺ノ多キヿハ開拓使創設以降未曾有ノ事ナリ

○屠牛(石川縣報告)　石川縣下ニ於テ去ル七月中屠牛ノ總數ハ三拾頭内牝拾壹頭牡拾九頭ナリ

○魯國蝗害(英國農事新聞抄譯)　一千八百八十三年魯國南部ノ諸州ニテ飛蝗ノ害毒甚シク殊ニカーロツフノ如キハ其ノ害既ニ拾貳萬五千町ノ耕地ニ及ヒフオコーペルスクプオロ子スキー及タガロツツク近傍モ亦其ノ害盛ナルヲ以テフオコーペルスクノ縣令ハ三萬餘圓ヲ其ノ費用ニ供シ專ラ撲殺ニ盡力中ナリタガンロツクニ於テハ害蟲ヲ鑿實ト共ニ火中ニ投シテ燒捨シ又被害ノ最甚シキハポリツソリースニシテ被害地已ニ拾七萬五千町ノ廣キニ及ヒタルヲ以テ六千ノ兵士ヲ派出シ其ノ驅除ニ盡力スルモ更ニ其ノ効ナキノミナラス漸次蔓延シテ其ノ害他州ニ及フヘキ景況アリ

○外報

○英國議院ノ質問(六月二十二日刊行佛國官報)　六月二十一日議員ウオルムスハ政府ニ質問ノ曰ク聞ク所ニヨレハ佛國公使トリクー氏ハ佛國士官ハ本國政府ヨリ清人ノ安南叛民ニ加リテ干戈ヲ執リタル

46

者ヲ悉ク銃殺スヘキノ命ヲ受ケタル旨ヲ清國直隸總督ニ通知シタリト云フ此ノ事果シテ實ナルヤ否ヤ外務副尚書フ井ツトモリース答ヘテ曰ク政府ハ未此等ノ確報ヲ得ス故ニ此ノ事ニ付キテ佛國ニ照會スルニ及ハス

又議員アルノールドハ馬賊加斯近日ノ事變ニ付キ殊ニクマクリーブノ佛國ニ攻取セラレタルヿノ實否ヲ問フ外務副尚書ハ之ニ答ヘテ充分ノ詳報ヲ得ル迄ハ佛國ニ此ノ事ノ實否ヲ照會スヘキ問題ヲ提出スルヲ得スト言ヘリ

○佛國巴理府ノ築城（六月二十日刊行佛國ラ、ブランス）　近時佛國ニ於テハ現在ノ堡壘及方形城ヲ以テ首府巴理ヲ防禦スルニ足ラストナシ更ニ城塞ヲ築造セントノ議起レリ因テ府會議員中ヨリ委員ヲ選擧シ陸軍卿ト協議シテ場所ノ指定ニ取掛ラシム

○伊國國會ノ決議（六月二十九日刊行佛國官報）　伊國國會ハ獨英兩國ノ間ニ締結シタル商業航海ノ條約ヲ承認シタリ

○米國ノ貿易銀（七月六日刊行倫敦支那エキスプレス）　紐育ノ來報ニ據レハ合衆國ノ貿易銀貨ハ終ニ通用セサルニ至ルヘシ蓋此ノ貿易銀ハ普通銀貨ト異ナリ之ヲ通用スルト否トハ人民ノ意好ニ任セタルモノニシテ要スルニ法貨ニアラス墨竟支那ノ貿易ニ從事スルモノヽ便利ヲ謀リテ鑄造シタルモノナリ然ルニ支那ノ市場ニ於テハ洋銀ノ如ク之ヲ貴重セス因テ合衆國ニ還リ來ルコト甚多ク之ヲ有スル人今ハ銀塊ト同價ヲ以テ販賣セントス而シテ現ニ合衆國ニアル貿易銀ノ額未審ナラサルカ故ニ之ヲ販賣スルニ及ヒ如何ナル影響ヲ銀價ニ及ホスヘキヤ之ヲ推知スルニ由ナシト雖貿易銀通用ノ澁滯ハ一般銀貨ヲ嫌フノ兆ナルヘシ

○氣象

○地理局報告

全國氣象概要　二十二日氣壓ハ前八時間ニ浮沈少ナク依然全度ヲ占メ南西部及ヒ東海岸ニ沿フテ僅ニ低下セリ而シテ方位東ノ風吹キ續ケリ○天氣ハ最モ多ク快晴ヨリ晴ニシテ本地ノ中央及ヒ南西部ノ或地ニ陰天アリ○宮崎ヨリ大坂ニ至ル南ノ海岸ニ於テ雨アリ而シテ高知ハ最モ多シ

全國氣象八月二十二日　京都時午前六時東京時午前六時十六分　長崎時午前五時三十六分

測候所	晴雨計	風向	風力	雨量	溫度	天氣
長崎	七五九	北東	一		二五	快晴
鹿兒島	七五八	東	二		二六	晴
宮崎	七六〇	東	一	四	二六	曇
高知	七六一		〇	六〇	二四	仝
和歌山	七六一		〇	二	二四	快晴
廣島		北	一		二三	仝
大坂	七六二	北東	二	一四	二二	仝
京都	七六二	東	一		二三	曇
下ノ關	七六〇		〇		二四	快晴
境	七六一		〇		二四	曇
金澤	七六一	南東	二		二四	仝
岐阜	七六三		〇		二二	仝
濱松	七六三	北東	二		二一	晴
沼津	七六三		〇		一八	快晴
東京	七六四	北	二		一八	仝
新潟	七六二	南東	二		二一	晴

| | | |

境	〇	〇	〇	〇	三
金澤	〇	〇	〇	〇	三二
岐阜	〇	五	一五	一七	〇
濱松	〇	〇	〇	〇	三五
沼津	〇	三二	三	一〇	五六
東京	〇	二七	三	〇	〇
新潟	一	〇	〇	〇	六〇
秋田	〇	〇	二一	一四	五
野蒜	二	〇	〇	六	一
宮古	八	〇	一	一二	〇
青森	〇	〇	五	五	〇
函館	〇	〇	二	三	〇
札幌	〇	〇	〇	〇	〇
尺度	佛厘	佛厘	佛厘	佛厘	佛厘

（表解）雨量ハ毎日午前六時（京都時）前二十四時間中ニ大地（降下セルモノニシテ佛厘ヲ以テ之ヲ示ス一佛厘ハ零英寸〇二九余ニシテ我カ曲尺三厘三毛ニ當ル

＊ハ雨量ノ最大ヲ示スモノナリ

○廣告

○幼年生徒募集廣告

當校幼年生徒五拾貳名缺員ニ付華士族平民ヲ論セス年齡滿十四年以上十七年以下ニシテ志願ノ者（未結婚ノ者ニ限ル）ハ撿査ノ上陸軍將校並同等官戰死者ノ孤子（數子アルモ一子ニ限ル）ニ限リ官費其他ハ自費ヲ以テ入學差許候條出願手續等郡區役所ニ就テ承合セ來ル九月二十日迄ニ願書可差出此旨廣告ス

但自費生一ヶ年ノ費用ハ凡金百圓內外ナリ

明治十六年八月廿三日　陸軍士官學校

○郵便船出帆廣告

本月廿六日午後二時半本局締切豐島丸ヲ以テ（函館根室）ヘ向ケ郵便差立候事

本月廿九日横濱出港ノ東京丸ヲ以テ神戸ニ於テ瓊浦丸ニ繼替同三十一日同所出港赤馬關長崎朝鮮釜山浦元山津ヲ經テ浦潮斯德ヘ向ケ郵便差立候事

但締切時限ハ廿九日午後第二時之事

本月廿九日東京丸ヲ以テ神戸馬關長上海ヘノ郵便物締切時限

府下郵便局　書留郵便物ハ正午十二時並郵便物ハ午後一時

驛遞本局　書留郵便物ハ午後二時並郵便物ハ午後二時半

横濱郵便局　書留郵便物ハ午後四時並郵便物ハ午後五時

明治十六年八月廿三日　驛遞局

○道路修繕請負廣告

陸前濱街道南足立郡千住五丁目ヨリ南葛飾郡金町村迄道路修繕

陸羽街道北豐島郡千束村ヨリ千住南組迄道路修繕

青梅街道東多摩郡阿佐ヶ谷村ヨリ下荻窪村迄道路修繕

青梅街道東多摩郡上荻窪村ヨリ上井草村迄道路修繕

右請負望之者ハ府廳土木課又ハ該地戶長役場ヘ申出入札請負規則幷仕様書現場共熟視之上來八月廿九日正午十二時迄ニ兩所便宜ノ場所ヘ入札差出スヘシ

但八月三十一日午前第九時開札之事

明治十六年八月廿三日　東京府廳

特 46 号 本文